

平成二十八年度玖珠地区研修

坂本勝信

平成二十八年十一月十日木曜日、由布市のマイクロバスで挾間支所玄関前を九時出発。参加者十二名、出発時天候くもり。バスが水分峠を通過して玖珠郡に入ってから、矢島会員さんから風土記の玖珠伝説や江戸期の久留島藩について、車内でのブリーフィングをしていただく。

(一) 宝八幡宮（玖珠郡九重町松木）

九時半に八幡宮駐車場に到着、駐車場奥に名物となっている白いイノシシに早速餌を施している会員さんもいました。社殿にあがるよう宮司さんに促され、一同参拝。宮司さんは甲斐素純さんで、玖珠郡史談会事務局長、また玖珠町誌編纂にも関わった歴史通の人物です。参拝後玖珠郡史の



挾間史談会玖珠研修会（宝八幡宮/2016・11・10）

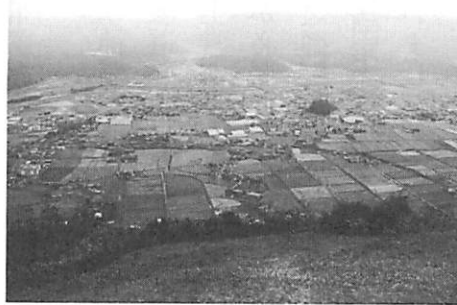
宝八幡宮

概要を説明いただいた。ご神木である町指定天然記念物指定のイチイガシの大木やアジサイ祭り入選俳句句碑など見学後徒歩で石段を下り県指定文化財の国東塔等を見学。

* 昼食は松木の龍門の瀧茶屋にて、紅葉を堪能しつつ…。

(二) 伐株山頂上

午後に入って小雨がポツリポツリ…。伐株山頂上にて、大友家の継嗣騒動での戦いの土塁跡というのはこれかもしれない等話しながら北側の展望台まで歩く。まだ雲は高く中津郊外の八面山が見えました。秀吉時代に始まる豊後分割、特に江戸期は久留島藩一万四千字の中心が角埋山のふもとの森町界隈、次いで久大線森駅が昭和四年に開通すると中心は駅周辺に移動し、さらに国道二一〇号線が現在のように玖珠川左岸にバイパスすると中心部がさらに南に移動したことがこの地区の特徴と思われるが、その痕跡が伐株山の頂上から俯瞰できた。



伐株山頂からの眺望

(三) 旧久留島氏庭園

少し強くなった雨の中、自由行動で公園内の庭園、童話碑、末廣神社、栖鳳楼等紅葉の国指定名勝を散策した。